

# (1日目)：8月10日(土) プログラム

A会場：テルサホール(西館 1F)

## ■ 9:30～9:35 開会挨拶

現地開催

オンデマンド配信

## ■ 9:35～10:35 教育講演

現地開催

オンデマンド配信

### トラウマ臨床における心理教育：私たちは何を伝えるべきか

座長：大江美佐里(久留米大学医学部 神経精神医学講座)  
演者：前田 正治(福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座、ふくしま心のケアセンター)

## ■ 10:45～11:45 特別講演

現地開催

オンデマンド配信

### アメリカでのトラウマインフォームドケア

座長：瀧野 揚三(大阪教育大学学校安全推進センター)  
演者：細田(アーバン) 珠希(鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座)

## ■ 12:00～13:00 ランチョンセミナー①

現地開催

### PTSD と統合失調症

座長：岩井 圭司(大阪人間科学大学 人間科学部医療福祉学科)  
演者：金 吉晴(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 名誉所長)  
共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 医薬開発本部

## ■ 13:10～14:00 能登半島地震シンポジウム

現地開催

オンデマンド配信

### 能登半島地震でのこころのケア活動

座長：高橋 晶(筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学 / 茨城県立こころの医療センター)  
シンポジスト：池田 隆義(石川県立こころの病院 地域災害支援部)  
濱松 湊子(石川県こころの健康センター)  
吉岡 智子(石川県能登北部保健福祉センター(石川県能登北部保健所兼務)健康推進課)

#### 令和6年能登半島地震における災害時こころのケア、DPAT 活動報告 ～「疾患レベル」の視点から～

池田 隆義(石川県立こころの病院 地域災害支援部)

#### 令和6年能登半島地震後の石川県こころの健康センターの働き

濱松 湊子(石川県こころの健康センター)

#### 令和6年能登半島地震における地域の実情と心のケア

吉岡 智子(石川県能登北部保健福祉センター(石川県能登北部保健所兼務)健康推進課)

## ■ 14:10～15:40 大会企画シンポジウム 1

現地開催

オンデマンド配信

### 多様性とトラウマ

座長：岩切 昌宏（大阪教育大学学校安全推進センター）  
田中 究（兵庫県立ひょうごこころの医療センター）  
シンポジスト： 玉木 幸則（一般社団法人兵庫県相談支援ネットワーク 代表理事）  
田中 恵子（特定非営利活動法人 RAFIQ（難民との共生ネットワーク））  
井上 鈴佳

#### 唯一無二の自分が好きって思えること

玉木 幸則（一般社団法人兵庫県相談支援ネットワーク 代表理事）

#### 日本に保護を求めた難民の抱えるトラウマについて

田中 恵子（特定非営利活動法人 RAFIQ（難民との共生ネットワーク））

#### 多様性が尊重される社会に向けての教育の重要性について ～性の多様性についての授業経験から～

井上 鈴佳

## ■ 15:50～17:20 大会企画シンポジウム 2

現地開催

オンデマンド配信

### トラウマインフォームドアプローチが根付くには

座長：亀岡 智美（兵庫県こころのケアセンター）  
シンポジスト： 川野 雅資（心の相談室 荻窪 室長）  
村田 純子（大阪府中央子ども家庭センター）  
卜部 明（相模原市立青少年相談センター）

#### 精神看護の立場から

川野 雅資（心の相談室 荻窪 室長）

#### 大阪府子ども家庭センターにおけるトラウマインフォームドケア（TIC）の実践

村田 純子（大阪府中央子ども家庭センター）

#### トラウマ・インフォームド・スクールに向けて

卜部 明（相模原市立青少年相談センター）

## ■ 17:20～17:40 総会

現地開催

## B 会場：セミナー室（東館 2F）

### ■ 17：30～18：30 ポスターセッション

現地開催

オンデマンド配信

- P1 感情と感情制御が解離状態に及ぼす影響  
池田 龍也（兵庫教育大学大学院学校教育研究科）
- P2 消防職員を対象にしたグループミーティングの効果に関する文献レビュー  
松井 豊（筑波大学人間系）
- P3 慈悲とマインドフルネス瞑想の PTSD 症状に対する効果 -2- 症例の検討  
井上 美沙（関西学院大学 文学部、医療法人 三家クリニック）
- P4 匿名 Web アンケートによる性犯罪被害申告に関する研究  
佐々木利奈（千葉大学子どものこころの発達教育研究センター、大阪大学大学院連合小児発達学研究科）
- P5 Dynamic Time Warping を用いた PTSD 症状の経時的変化：平和維持活動要員を対象とした縦断研究  
斉藤 拓（防衛医科大学校 防衛医学研究センター 行動科学研究部門）
- P6 児童福祉領域で働く支援職のトラウマコンピテンシーに関する質問紙調査—知識・態度・実践に関して  
高田紗英子（大阪大学大学院 人間科学研究科）
- P7 子ども期逆境体験と意図しない妊娠との関連の検討：横断研究  
金森 由晃（東京大学 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 精神看護学分野）
- P8 対面での性暴力被害者とオンライン上での性暴力被害者の自己客体化および PTSD 関連症状の差異  
松岡 優菜（兵庫教育大学大学院 連合学校教育学研究科、日本学術振興会特別研究員）
- P9 性暴力被害者のためのワンストップセンターにおける精神科・心療内科との連携の取り組み ～京都性暴力被害者ワンストップ相談支援センター 京都 SARA の実践から～  
周藤由美子（ウィメンズカウンセリング京都）
- P10 山梨県立北病院の医療スタッフを対象とした逆境的小児期体験および保護的体験、潜在的トラウマ体験の頻度と PTSD 症状の実態調査  
児玉 啓輔（地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立北病院）
- P11 集団場面での傷病発生時における傷病者以外の児童への対応方法の検討—小学校教員を対象としたインタビュー調査の回答内容および大学生を対象とした回想法による検討—  
桃田 茉子（兵庫県こころのケアセンター）
- P12 新型コロナ禍の救急活動と精神的健康との関連：コロナ禍における救急隊員のストレス（15）  
畑中 美穂（名城大学）
- P13 300km 離れたかかりつけ医との連携により円滑に治療できたオンライン持続エクスポージャー療法の 1 例  
藤内 温美（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部）
- P14 鳥取県の児童相談所における TIC 研修の実践  
小山 義晃（鳥取県西部総合事務所県民福祉局米子児童相談所）

- P15 PTSD 患者の在宅での睡眠の実態 - 睡眠時間は取れているが質が低下？  
関場 遥 (筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)
- P16 再発した PTSD 症状に対するメマンチンの使用経験  
金井 講治 (大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター、大阪大学大学院医学系研究科 精神医学)
- P17 東日本大震災による母親の惨事ストレスと児の問題行動との関連について  
田邊 竣 (東北大学医学部)
- P18 日本語版 Child Abuse and Trauma Scale の性別および青年・成人間での測定不変性の検討  
田辺 肇 (静岡大学人文社会科学部)
- P19 陸上自衛官における精神疾患に対するスティグマと援助希求態度  
浅野孝太郎 (防衛医科大学校 精神科学講座)
- P20 東日本大震災後に発症した PTSD 症例が PE で一旦改善し、その 3 年後に父の死をきっかけに抑うつ  
的になった症例にスキーマ療法を施行した経過について  
堀 有伸 (ほりメンタルクリニック、福島県立医科大学神経精神医学講座)
- P21 被爆地を離れた被爆者の伝承活動に関する意識  
中嶋みどり (仙台白百合女子大学人間学部心理福祉学科)
- P22 神経発達症と PTSD の併存例に対して認知処理療法を行った一例  
石田 哲也 (久留米大学医学部神経精神医学講座)
- P23 PTSD 患者が合理的配慮申請時に感じた二つの不合理  
山下 達也 (岐阜市民病院小児科)
- P24 わが国におけるセルフケア尺度の再検討 その 1 —健常群を対象とした因子構造の再現性の検討—  
今井田貴裕 (人間環境大学心理学部)
- P25 わが国におけるセルフケア尺度の再検討 その 2 —探索的因子分析を用いて—  
三地きらら (兵庫教育大学大学院 学校教育研究科)
- P26 事業場内産業保健スタッフによるポストベンションの現状と課題  
保崎恵理子 (京都府警察本部、京都大学大学院教育学研究科)